

令和7年度 学生FD CHAmmit 学部で対応可能な意見に対する報告書

学生意見の集約

実施日	実施内容
令和7年6月30日	【具体的な実施方法】 駿河台校舎と船橋校舎の会議室に集まりテレビ会議システムを使用した対面方式
	【参加学生（学科・学年・氏名）】

学部で対応可能な意見

※学生FD CHAmmit当日、以下の内容を基に、参加学生からご説明いただきます。

学生からの意見（学部・学科の問題点）	対応済	対応中	問題解決のプロセス
<p>【意見】 学科間の交流を増やしてほしい</p> <p>【理由・経緯】 数多くの学科が同じキャンパスに集まっているので、もっと交流や教養教育科目以外にも合同授業を行いたいから。 スポーツや英語科目のような学科横断の科目がなくて寂しいから。</p>			<p>【①問題を解決することで良くなったこと・良くなると見込まれること】 学科を越えての交流が可能となり、学科以外での知り合いが増えること。</p> <p>【②問題を解決するための具体的な方法・必要な資源（ヒト・モノ・情報）など】 ワールドカフェ・funa-mixなどで学部間・学科間で交流の機会を設けていますが、現状上級生科目での学科間の交流の機会はありません。 「交流」を目的とした授業は配置が難しく上記2つのイベントの有効活用をまずは目指したい。</p> <p>【③問題を解決するにあたっての課題・ハードル】 学科単位で時間割を作成しているため、学科を跨いだ時間割の調整が必要になる。</p>
<p>【意見】 教養教育科目が抽選で希望している科目を受講できない。また教養教育科目の枠を増やすことなどはできないのか。</p> <p>【理由・経緯】 教養教育科目では人気の授業は抽選となっているが、教養教育科目も取らないといけない単位が決まっている。そのため、3年生までに教養教育科目を取らなければならない。 しかし、3年生が優先される教養教育科目(土曜日のオンデマンド授業)があるがそれすらも抽選であるため、3年生までに教養教育科目の単位を取り終えることができない。</p>			<p>【①問題を解決することで良くなったこと・良くなると見込まれること】 希望する科目を履修できるようになり、時間割を考えやすくなる。</p> <p>【②問題を解決するための具体的な方法・必要な資源（ヒト・モノ・情報）など】 履修希望が偏らないような時間割の調整を行う。</p> <p>【③問題を解決するにあたっての課題・ハードル】 現行のカリキュラムでは、とくに教養教育科目の修得条件が厳しいが、以前のカリキュラムのように自由度を高めると学生の主体的な学びが促進される一方で、人気科目への偏りや履修の偏重に繋がり、自由な履修は学生の自己責任を伴うため、大学としての履修制度は必要である。</p>
<p>【意見】 教養教育科目のオンデマンド授業を増やしてほしい</p> <p>【理由・経緯】 教養教育科目では、オンデマンド授業に履修希望が集中する傾向にあり、その一因として、オンデマンド授業の科目が少なさが要因ではないかと考える。 オンデマンド授業を適切に配分することで、一極集中は避けられ、学習機会の公平性が保たれるのではないかと考えるから。</p>			<p>【①問題を解決することで良くなったこと・良くなると見込まれること】 教養教育科目の選択肢の幅が広がる。</p> <p>【②問題を解決するための具体的な方法・必要な資源（ヒト・モノ・情報）など】 オンデマンド授業の時間割の配置などの見直し。</p> <p>【③問題を解決するにあたっての課題・ハードル】 時間割の配置問題は見直しが必要である。</p>

学生からの意見（学部・学科の問題点）	対応済	対応中	問題解決のプロセス
<p>【意見】 試験の結果の提示、もしくは点数の開示、試験の解説を、授業内もしくはキャンパスなどでしてほしい</p> <p>【理由・経緯】 成績の通知が3月中旬にハガキ成績が届くが、成績の質疑が可能になるのは4月意向である、そのため成績を受け取ってから質疑までタイムラグが生じている。</p>		○	<p>【①問題を解決することで良くなったこと・良くなると見込まれること】 なぜこの成績になったのか、自分が間違えた箇所を理解し次につなげられる。</p> <p>【②問題を解決するための具体的な方法・必要な資源（ヒト・モノ・情報）など】 理工学部では、理解度確認期間中における平常試験や定期試験を実施した科目は、原則として試験後にその解説などフィードバックをしている。</p> <p>【③問題を解決するにあたっての課題・ハードル】 試験後にその解説などを行っていない科目については、関係部署から授業内での解説やLMSなどを活用し情報提供するなど、フィードバックをするように促している。</p>
<p>【意見】 エレベーターの混雑状況の改善</p> <p>【理由・経緯】 エレベーターが来ないことで授業に間に合わないことが発生する。</p>		○	<p>【①問題を解決することで良くなったこと・良くなると見込まれること】 2階程度の移動にもエレベーターを利用する人が多く、混雑の一因となっている。階段利用を呼びかけることで、利用者の意識を変え、エレベーターの混雑解消につながると期待される。</p> <p>【②問題を解決するための具体的な方法・必要な資源（ヒト・モノ・情報）など】 エレベーター前にポスターの掲示を行い、意識改革を促す。</p> <p>【③問題を解決するにあたっての課題・ハードル】 エレベーターを使用する学生・教職員の意識改革が必要となる。</p>
<p>【意見】 成績発表の時期が遅い</p> <p>【理由・経緯】 成績を早い時期に確認し、次につなげたいから。</p>		○	<p>【①問題を解決することで良くなったこと・良くなると見込まれること】 春休み・夏休みの時期に成績を確認し、翌学期の授業科目を決められる。</p> <p>【②問題を解決するための具体的な方法・必要な資源（ヒト・モノ・情報）など】 システムの改修や運用方法の変更・学部内での承認が必要となる。</p> <p>【③問題を解決するにあたっての課題・ハードル】 教務課としては早期公開ができるようシステムの改修を進めている。 運用方法の変更及び学部内での承認については、学科等によって置かれている状況も異なるため、支障の生じない方法を検討する必要があるが、できる限り早く実現したい。</p>
<p>【意見】 学生の意見をより反映したカリキュラム改善や、実践的な学びの機会の充実を期待する。</p> <p>【理由・経緯】 授業アンケートに回答しても、対応は翌年度以降になるため、実感がないから。</p>			<p>【①問題を解決することで良くなったこと・良くなると見込まれること】 学生の学習意欲の向上につながる。</p> <p>【②問題を解決するための具体的な方法・必要な資源（ヒト・モノ・情報）など】 改善した事項についてHP・シラバス等でお知らせするような体制づくりを行う。</p> <p>【③問題を解決するにあたっての課題・ハードル】 教員が個々に改善しても、授業終了後（翌年度）であることが多いため、それを周知する場が限定されており、学生へのフィードバックが難しいこと。</p>

学生からの意見（学部・学科の問題点）	対応済	対応中	問題解決のプロセス
<p>【意見】 時間割が見にくい。</p> <p>【理由・経緯】 令和7年度より紙媒体からデータでの公開となった。</p>		○	<p>【①問題を解決することで良くなったこと・良くなると見込まれること】 ペーパーレス化の観点・学内からの意見を元に令和7年度より時間割を電子媒体とし、時間割表を持ち歩かなくてもスマホなどで教室を確認できるようにした。</p> <p>【②問題を解決するための具体的な方法・必要な資源（ヒト・モノ・情報）など】 導入初年度であり、学内から色々な意見が届いているので、来年度に向けて意見をまとめ、検討していきたい。 A4で印刷し、書き込みをしたい（スケジューリングができるようなものが欲しい）との意見が出たので、その点についても検討していきたい。</p> <p>【③問題を解決するにあたっての課題・ハードル】 電子媒体を変更する場合のシステムの改修等が必要となる。 できる限り早く実現したい。</p>
<p>【意見】 CanvasかClassroomかどっちかに統一してほしい。</p> <p>【理由・経緯】 バラバラだと先生も学生も管理しづらいから。</p>			<p>【①問題を解決することで良くなったこと・良くなると見込まれること】 学科で異なるので、統一されたほうが先生も学生も管理しやすくなる。</p> <p>【②問題を解決するための具体的な方法・必要な資源（ヒト・モノ・情報）など】 学務委員会及びICT委員会で検討していく。</p> <p>【③問題を解決するにあたっての課題・ハードル】 現時点で解決に結びつく建設的な意見は無いので、継続して検討していく。</p>
<p>【意見】 105分授業にしないでほしい。</p> <p>【理由・経緯】 90分現行のままで構わない。</p>			<p>【①問題を解決することで良くなったこと・良くなると見込まれること】 現在100分授業にすることを検討しているため、問題を解決することは困難である。</p> <p>【②問題を解決するための具体的な方法・必要な資源（ヒト・モノ・情報）など】 上記①のとおり。 なぜ100分授業となるのか、その理由を学生に伝える事は必要であると考えている。</p> <p>【③問題を解決するにあたっての課題・ハードル】 上記①のとおり</p>
<p>【意見】 学食を充実（品数・座席数・電波環境・電子マネーの使用）させてほしい。</p> <p>【理由・経緯】 ・学食のレパトリーを増やしてほしいのと値段を安くして欲しい。船橋校舎の学食の方が安く種類も多くて美味しかった。 ・いつも並んでいて、食堂の外まで人であふれている ・特別食堂の復活</p>		○	<p>【①問題を解決することで良くなったこと・良くなると見込まれること】 ・品数 各店舗利用者からアンケート等により、適宜追加メニューを提案しているほか、契約更新時に追加メニューの見直しを行い、学生食堂における学生サービスの充実を図っている。 ・座席数 年間の営業日数、稼働時間、食事の提供が可能か否かを考慮した上で判断しており、現状が衛生的かつ効率的に食事を行える座席数と判断している。</p> <p>【②問題を解決するための具体的な方法・必要な資源（ヒト・モノ・情報）など】 ・行列対応 昼食時間は、混雑するため食券を事前に購入するよう推奨しているほか、昼食時間帯を12:10～13:20までの時間内とはせずに、混雑時間を避けた昼食時間が確保できるよう営業時間を工夫し、幅広く対応した。 ・電波環境 券売機の通信環境が悪くキャッシュレス決済時に時間を要しているため、契約業者には改善できないか確認を行っている。</p> <p>【③問題を解決するにあたっての課題・ハードル】 ・特食復活 委託業者による従業員の確保が困難であるとともに食材料費の高騰に伴い、提供するメニューが市価同等以上と見込まれることから運営は不可能と判断した。</p>

学生からの意見（学部・学科の問題点）	対応済	対応中	問題解決のプロセス
<p>【意見】 駿河台校舎の購買が小さい。</p> <p>【理由・経緯】 一店舗しかなく、品揃え、値段ともに船橋キャンパスと比べて不便である。</p>	○		<p>【①問題を解決することで良くなったこと・良くなる見込まれること】 駿河台校舎は都市型のキャンパスであることから、面積比を元に郊外にある学部や他大学と比べると購買の店舗面積は小さいです。年間の営業日数と稼働時間を考慮すると現状から店舗の場所変更は困難であるため、注文を含む商品の取り寄せと商品の陳列を工夫し、学生サービスの向上を行っている。金額に関しては、市場価格よりも割安に提供している。</p> <p>【②問題を解決するための具体的な方法・必要な資源（ヒト・モノ・情報）など】 駿河台と船橋で購買の金額が違うとの意見がありましたが、同じ業者が入っているため、価格が違う事は無いが、業者へのヒアリングは実施する。</p> <p>【③問題を解決するにあたっての課題・ハードル】 店舗面積の確保。</p>
<p>【意見】 エアコンの温度設定を自由にできるようにしてほしい。 タワースコラの研究室は26℃設定で、学生が集まると暑い。</p> <p>【理由・経緯】 教室ごとに空調の温度設定を変えられないので、体感に応じて変更できるようにしてほしいから。</p>	○		<p>【①問題を解決することで良くなったこと・良くなる見込まれること】 教室利用者の体感等により教室ごとの調整ができるようになる。</p> <p>【②問題を解決するための具体的な方法・必要な資源（ヒト・モノ・情報）など】 設定温度を一時的に下げる等、柔軟な対応は行っている。</p> <p>【③問題を解決するにあたっての課題・ハードル】 エアコンの温度設定については、東京都からの省エネ要請や、建物全体の電気容量の制限（停電リスクの回避）等の理由から、大幅な調整が難しい。 しかし、熱中症対策義務化も2025.6から施行されているので、教室ごとで温度調整可能とするなど、何らかの抜本的な対策が必要である。</p>
<p>【意見】 トイレをきれいにしてほしい</p> <p>【理由・経緯】 駿河台校舎1号館やタワースコラはトイレが綺麗だが、その他の建物はトイレが和式だったりして不便である。また、人によっては入るのを我慢するため、体に悪い。 そのため、和式トイレではなく、洋式トイレにするべきだと考える。</p>	○		<p>【①問題を解決することで良くなったこと・良くなる見込まれること】 誰にとっても使いやすく、衛生的なトイレ環境となる。</p> <p>【②問題を解決するための具体的な方法・必要な資源（ヒト・モノ・情報）など】 限られた予算の中で、空調設備や照明など学習環境の維持に直結する設備の修繕・更新を優先してきたが、要望をふまえて段階的に洋便器化を進めていく。</p> <p>【③問題を解決するにあたっての課題・ハードル】 一度にすべての和便器を洋便器化することは予算の都合上難しい。段階的に進めていく。</p>